



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月4日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
コード番号 4752 URL <https://www.showa-sys-eng.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）尾崎 裕一
問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,178	3.6	606	10.8	617	11.1	429	12.4
2025年3月期中間期	4,032	2.0	546	△8.8	555	△9.0	382	△9.0

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	100.35	—
2025年3月期中間期	88.24	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	8,599	5,590	65.0
2025年3月期	8,676	5,342	61.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,590百万円 2025年3月期 5,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	55.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	2.2	969	2.1	983	2.1	668	△6.5	156.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	4,810,000株	2025年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	528,811株	2025年3月期	528,811株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	4,281,189株	2025年3月期中間期	4,331,199株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響は一部あったものの穏やかに回復しています。先行きについても雇用・所得環境の改善や各種政策の効果がこの回復を支えていくことが期待されますが、物価上昇の継続による消費者マインドの低下や金融資本市場の変動等による影響は引き続き注意が必要です。

当社が属する情報サービス産業におきましては、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展や基幹システムの刷新ニーズに牽引され、IT投資は旺盛で市場規模は拡大傾向にあります。人材不足も慢性的な課題となっています。

このような環境下、当社は2025年4月から新たな中期経営計画「+transform into Values」をスタートし、①戦略的人材確保、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③DXビジネス領域の維持・拡大、④社内業務基盤におけるデジタル技術の拡大の4つの基本方針に基づき、更なる企業価値の向上に努めております。特に重要な経営資源である人材の強化を積極的に進め、ビジネスパートナーとも連携強化を図り市場からの人材要請に 대응しています。

その結果、当中間会計期間の売上高は顧客のシステム投資需要を捉え、4,178百万円（前年同期比3.6%増）となりました。利益面においては、営業利益606百万円（前年同期比10.8%増）、経常利益617百万円（前年同期比11.1%増）、中間純利益429百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

① キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ284百万円減少し、3,895百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は243百万円（前年同期は103百万円の獲得）となりました。

収入の主な要因は税引前中間純利益617百万円、売上債権の減少52百万円、減価償却費の計上11百万円であり、支出の主な要因は賞与引当金の減少190百万円、未払金の減少34百万円、退職給付引当金の減少26百万円、法人税等の支払額132百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は293百万円（前年同期は0百万円の獲得）となりました。

収入の主な要因は定期預金の払戻による収入1,300百万円、保険積立金の解約による収入6百万円であり、支出の主な要因は定期預金の預入による支出1,600百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は235百万円（前年同期は216百万円の使用）となりました。これは配当金の支払235百万円によるものであります。

② 財政状態の状況

（流動資産）

当中間会計期間末における流動資産は6,723百万円（前事業年度末比38百万円減少）となりました。主な要因は現金及び預金が15百万円増加したものの、売掛金及び契約資産が52百万円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当中間会計期間末における固定資産は1,875百万円（同38百万円減少）となりました。主な要因は投資その他の資産に含めた投資有価証券の時価評価が78百万円増加したものの、繰延税金資産が100百万円減少したことによるものであります。

その結果、当中間会計期間末における資産合計は8,599百万円（同77百万円減少）となりました。

（流動負債）

当中間会計期間末における流動負債は968百万円（同297百万円減少）となりました。主な要因は未払法人税等が21百万円、賞与引当金が190百万円、その他に含めた未払金が32百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債は2,040百万円（同28百万円減少）となりました。主な要因は退職給付引当金が26百万円減少したことによるものであります。

その結果、当中間会計期間末における負債合計は3,008百万円（同325百万円減少）となりました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は5,590百万円（同247百万円増加）となりました。これは配当金の支払235百万円による利益剰余金の減少があったものの、中間純利益429百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金53百万円の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、2025年5月13日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

（1）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,779,935	5,795,268
売掛金及び契約資産	946,419	893,957
仕掛品	2,559	2,826
その他	33,278	31,725
流動資産合計	6,762,192	6,723,777
固定資産		
有形固定資産	489,808	485,832
無形固定資産		
ソフトウェア	38,806	32,154
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	42,138	35,486
投資その他の資産		
繰延税金資産	721,500	621,278
その他	661,151	733,189
投資その他の資産合計	1,382,651	1,354,467
固定資産合計	1,914,598	1,875,786
資産合計	8,676,791	8,599,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	333,102	318,718
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	154,586	133,579
賞与引当金	483,391	292,879
その他	284,942	213,685
流動負債合計	1,266,023	968,864
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	59,180
退職給付引当金	2,007,119	1,980,845
固定負債合計	2,068,093	2,040,025
負債合計	3,334,116	3,008,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	4,493,373	4,687,519
自己株式	△373,034	△373,034
株主資本合計	5,304,539	5,498,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	217,514	271,367
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	38,135	91,988
純資産合計	5,342,674	5,590,674
負債純資産合計	8,676,791	8,599,563

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,032,047	4,178,924
売上原価	3,241,415	3,310,933
売上総利益	790,632	867,991
販売費及び一般管理費	243,785	261,935
営業利益	546,846	606,055
営業外収益		
受取利息	154	1,706
受取配当金	6,930	7,591
受取家賃	930	930
受取手数料	227	212
雑収入	472	900
営業外収益合計	8,714	11,340
営業外費用		
支払利息	28	40
営業外費用合計	28	40
経常利益	555,532	617,355
税引前中間純利益	555,532	617,355
法人税、住民税及び事業税	110,047	112,309
法人税等調整額	63,316	75,434
法人税等合計	173,363	187,744
中間純利益	382,168	429,611

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	555,532	617,355
減価償却費	11,572	11,296
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△173,049	△190,511
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,692	△26,274
受取利息及び受取配当金	△7,085	△9,298
保険解約返戻金	—	△467
支払利息	28	40
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,107	52,461
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,640	△266
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,613	2,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,108	△14,383
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,734	△10,638
未払金の増減額 (△は減少)	△76,061	△34,885
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△26,539	△28,719
その他	60	—
小計	249,171	367,893
利息及び配当金の受取額	7,047	8,737
利息の支払額	△65	△109
法人税等の支払額	△152,901	△132,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,252	243,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△1,600,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	—	△153
貸付金の回収による収入	672	151
保険積立金の解約による収入	—	6,917
差入保証金の差入による支出	△33	—
その他	△84	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	555	△293,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△216,534	△235,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,534	△235,112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112,727	△284,667
現金及び現金同等物の期首残高	4,183,834	4,179,935
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,071,107	3,895,268

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	中間損益計算書 計上額(注) 2
	ソフトウェア開 発事業	B P O事業	合計		
売上高					
SEサービス	3,696,168	39,331	3,735,500	—	3,735,500
受注制作	296,547	—	296,547	—	296,547
顧客との契約から生 じる収益計	3,992,715	39,331	4,032,047	—	4,032,047
セグメント利益	784,180	6,451	790,632	△243,785	546,846

(注) 1. セグメント利益の調整額△243,785千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	中間損益計算書 計上額(注) 2
	ソフトウェア開 発事業	B P O事業	合計		
売上高					
SEサービス	3,863,371	37,326	3,900,698	—	3,900,698
受注制作	278,226	—	278,226	—	278,226
顧客との契約から生 じる収益計	4,141,598	37,326	4,178,924	—	4,178,924
セグメント利益	862,887	5,103	867,991	△261,935	606,055

(注) 1. セグメント利益の調整額△261,935千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。